

笑顔とがんばりの町

おのまもち

議会だより

定例会2月会議

- ◇平成25年度各会計当初予算のほか、平成24年度各会計補正予算、条例の新規制定や一部改正などを議決
- ◇4人の議員が一般質問
(仮置場、森林・林業の再生、企業誘致、石綿セメント管更新などについて)

定例会3月会議

- ◇平成24年度一般会計補正予算を議決



▲山頂からの眺望



▲山頂の展望台



▲山頂のツツジ



▲新緑の登山道

5月26日、高柴山の山開きが行われ、多くの方が登山を楽しみました。

平成24年度2月補正予算

補正予算は右の表のとおり、全員賛成で可決しました。一般会計の歳入では、特別交付税や災害等廃棄物処理事業費国庫補助金、社会資本整備総合交付金などが増額となりました。

一般会計の歳出では、公立小野町地方総合病院企業団負担金、百目木・堀切線整備工事費、財政調整基金積立金などを増額したほか、国民健康保険特別会計繰出金、田村広域行政組合分担金、田村東部環境センター分担金、自給飼料生産農地再生事業業務委託料などを減額する内容です。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護保険サービス事業・浄化槽整備推進事業などの特別会計では、決算に向けた事業費見込み額の収支調整が主な内容ですが、除染対策事業特別会計では、決算に向けた収支調整のほか仮置場測量設計業務委託料等を計上しました。

| 会計区分 | 補正額 | 予算総額 |
|--------------|---------|-----------|
| 一般会計 | 65,109 | 4,883,660 |
| 国民健康保険 | 107,916 | 1,350,644 |
| 後期高齢者医療 | 471 | 100,043 |
| 除染対策事業 | ▲15,356 | 41,696 |
| 介護保険 | 21,734 | 1,046,504 |
| 介護保険サービス事業 | ▲488 | 3,365 |
| 浄化槽整備推進事業 | ▲24,588 | 78,942 |
| 文化・体育振興基金 | 762 | 4,193 |
| 特別会計 水道事業 | 収益的収入 | 1,513 |
| | 収益的支出 | ▲457 |
| | 資本的収入 | ▲630 |
| | 資本的支出 | ▲2,472 |

単位:千円

定例会2月会議

2月21日～3月1日



▲定例会2月会議

平成25年小野町議会定例会2月会議は、2月21日から3月1日まで9日間の日程で開かれました。会議では、平成24年度各会計補正予算、平成25年度各会計当初予算、条例の新規制定9件、一部改正7件、小野町道路線の廃止や認定についてのほか、議員提出議案2件など、38議案について原案のとおり可決しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。

平成25年度当初予算 43億4,000万円(一般会計)

平成25年度当初予算は右の表のとおり、全員賛成で可決しました。

当初予算では、特に東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故からの復旧・復興を基本とし、除染対策事業、農業や商工業などの風評対策事業、町民の安全と安心を確保するための取り組みなどを重点施策とし、選択と集中による予算配分がなされました。

平成25年度当初予算 単位:千円

| 会計区分 | 当初予算額 | 前年度との比較 |
|--------------|-----------|---------|
| 一般会計 | 4,340,000 | 325,000 |
| 国民健康保険 | 1,343,000 | 91,853 |
| 後期高齢者医療 | 99,000 | ▲2,730 |
| 除染対策事業 | 569,000 | 521,808 |
| 介護保険 | 1,174,000 | 216,034 |
| 介護保険サービス事業 | 3,400 | ▲453 |
| 浄化槽整備推進事業 | 82,000 | ▲24,043 |
| 文化・体育振興基金 | 3,091 | 0 |
| 特別会計 水道事業 | 収益的収入 | 148,832 |
| | 収益的支出 | 148,338 |
| | 資本的収入 | 31,102 |
| | 資本的支出 | 114,653 |

関係大臣や各省庁、県選出国會議員へ要望活動を実施

小野町議会では、3月26日(火)、関係大臣や関係省庁、並びに県選出国會議員へ、右支夏井川河川改修事業の建設促進、主要地方道小野富岡線および一般県道吉間田滝根線^(※1)の整備促進、中間貯蔵施設および最終処分施設の早期建設と除染に係る国の財政負担、森林整備や林道整備、治山事業への支援などについて、全議員で要望活動を実施してきました。

(※1)主要地方道小野富岡線および一般県道吉間田滝根線は、小野町と浜通りの市町村を結ぶ重要路線です。



▲菅野佐智子衆議院議員への要望活動



▲森まさこ参議院議員への要望活動



▲荒井広幸参議院議員への要望活動



▲岩城光英参議院議員への要望活動

陳情の審査結果

定例会2月会議では、1件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

| 件名 | 陳情者 | 審査結果 |
|--|-------------------------------------|------|
| 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書についての陳情書 | 労協センター事業団静町地域福祉事業所 よらんしょ 所長 横道 隆 | 採択 |

議員提出議案の審査結果

陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

| 議案名 | 提出者 | 審査結果 | 提出先 |
|--------------------------------|---------|---------|--------------|
| 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書 | 宗像芳男 議員 | 全員賛成で可決 | 内閣総理大臣 ほか |

意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる(地方自治法第99条)」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会に認められている権限です。

一般質問

宇佐見留男議員、会田明生議員、吉田康市議員、竹川里志議員が町政各般について質問を行いました。



宇佐見留男議員

定住促進について

新築購入・家賃補助制度について

問 人口の減少を食い止め、少子高齢化に歯止めをかける観点からも、定住促進に向けて新築購入及び家賃補助制度についての町長の考えを伺います。

今後、検討してまいりたい

町長 ご提案いただいた新築購入、家賃補助制度の創設につきましては、人口減少に歯止めをかける施策の一つと考えられますので、今後、様々なご意見をお聞きして、施策を総合的に検討してまいりたい。

新築購入・家賃補助(案)について

問 私が参考として提出しました新築購入・家賃補助(案)についてですが、町内で四十歳以下の方が新築住宅を取得する場合、土地と建物の取得に要した費用の十分の一の額を、また、町内の建築業者を元請けとして新築する場合、更に、床面積㎡当たり五千円を上乗せし、各々百万円を上限として補助するものです。

また、世帯主が四十歳以下で、過去二年間、町内に住所を有しなかった世帯が転入し、町内の賃貸住宅に入居した場合、月額二万円を十二万円

月交付するものです。この補助(案)について、町長の考えを伺います。

総合的に検討してまいりたい

町長 先ほども申しあげたとおり、人口減少に歯止めをかける施策の一つとして考えられますので、今後、様々なご意見をお聞きして、施策を総合的に検討してまいりたい。

我が町は近隣都市への通勤圏内である

問 我が町は豊かな自然環境に恵まれ、郡山市やいわき市と隣接しており、高速交通網へのアクセスも良く通勤圏内にあると思うが、町長の考えを伺いたい。

産業廃棄物処分場について

塩庭地内の産業廃棄物最終処分場について

問 平成元年十一月二十日、(株)丸五産業と小野町

定住・二地域居住推進事業を進める

町長 私も、小野町は豊かな自然環境に恵まれ、交通のアクセスも良く、阿武隈地域の交通の要所として重要な地域であると考えています。引き続き、高速交通網などを生かした定住・二地域居住事業を進めてまいり所存です。

専従職員を置いてはどうか

問 企画商工課に、定住促進の専従職員を置いてはどうか。

担当課全体で推進する

町長 職員間の連携を図り、担当課全体で積極的に推進してまいり所存ですので、ご理解をお願いいたします。

平成十七年の協定で、なぜその項目が削除されたのか

問 平成十七年四月に町と(株)東北エス・イー・ティーとの間で締結された公害防止協定では、他企業からの廃棄物は搬入しないという項目が削除されています。その経緯について伺います。

他社の廃棄物処分について、県の許可がされた

町長 平成十一年五月に丸五産業が倒産した際、破産管財人及び福島県に対し、町の同意の件や自社処分場の用途であったことに関して再三申し出ましたが、意見は受け入れられず、(株)東北エス・イー・ティーへの施設の譲り受けが福島県より許可されました。

また、他社の廃棄物処分を行う事を前提に事業を譲り受け、処分業の許可がされたことから、協定に「自社の廃棄物のみを受け入れる」という条項を盛り込めなかったものです。

搬入された廃棄物の放射線量等について

問 (株)東北エコークリンでは十二月から廃棄物の搬入を始め、一月二十八日現在で十四台の搬入があったとの報告があるが、放射能レベルはどの程度か。また、公害防止協定の第二条で

環境汚染賠償保険に加入することとなっている

が、加入しているのか伺います。

毎時〇・三三マイクロシーベルト未満である

町長 事業者において搬入車両ごとに空間放射線量率を測定し、毎時〇・三三マイクロシーベルト未満であることを確認した上で埋め立て処分を実施している。また、町の担当課職員も抜き打ちで検査しているが、現在まで規定内の数値となっている。

環境汚染賠償保険については、二月二十五日付で加入しております。

協定第三条の違反と知りながら搬入したのか

問 (株)東北エコークリンは公害防止協定第三条の違反と知りながら搬入をしたのか。また、町も協定違反と知っていて搬入をさせたのか伺います。

加入の手続きを進めていた

町長 事業者では、加入する保険会社の調査を受け、加入の手続きを進めていたとのことでありますが、保険会社の調査に時間を要し、結果として搬入開始の時点で保険加入手続きが完了していない状況でありました。

仮置場の状況

問 仮置場の候補地が決まらない地区について、これからどのような考え方をもち、町民と話し合うのか、町長の考えを伺います。

地域の方々と民有地も含めて協議を重ねる

町長 小野新町地区、飯豊地区については、町が示した候補地にご理解が得られない状況を踏まえ、それぞれの地区内の民有地も含めて、改めて地域の方々と協議を重ねて合意形成、仮置場確保ができるよう努めてまいりたい。



会田明生議員

行政の説明責任と情報公開について

行政における意思決定過程での説明責任と情報公開について

問 地域の実情や特色を生かした地域づくりを進めるうえでは、地域に住民皆さんの意見等

いる除染対象は、住居等から二十メートル程度に限られています。

議員ご発言のとおり、森林内の放射性物質の影響により、周辺住宅地では線量が低下しないことも心配されるため、町としても機会を捉え、森林除染の実施に向け、対策を要望してまいりたい。

機会は十分とはいえないのではないかと。

よりよい行政運営にあたって、より多くの地域の皆さんの行政への参加を促すには、行政への信用・信頼が必要不可欠であり、信用・信頼を得るためには住民に対し十分な情報を示すとともに、説明責任を果たす必要があると思うが、いかがお考えでしょうか。

今後、改善していきたい

町長 これまで、できるだけ情報の発信や意見の収集に努め、施策への反映を心掛けてきましたが、まだまだ結果的に不足と思っております。今後、改善が必要なることを十分に認識し、継続して改善していきたいと思っております。

具体的な改善策について

問 直面する地域の様々な課題を乗り越えていくためには、町と住民との結びつきが非常に重要であり、相互理

解、信頼関係を構築する必要はあるが、具体的にどのような情報交換や説明責任を果たしているのか、伺います。

きめ細かい広報や意見交換の場などを考えている

町長 きめ細かな広報

条例等の見直しについて

現在の条例等の見直しと地域の実情に即する

町長 町のホームページを

見ますと小野町の例規集を検索することができます。内容を

廃止も含め見直しが必要と思われるものいくつかあります。

昨今の地方分権、地域主権改革の推進により、自治体政策法務の

誌やホームページ、ソーシャルネットワークの利用やパブリックコメントの拡大、さらに、市民の皆さんと直接的に意見交換をする場をつくる必要性などについて考えています。

重要性が高まっており、地域特性に応じた特色ある条例を制定する事例が全国各地で見受けられます。

今後の地域づくりにおいては、地域特有の



▲小野町の例規集町のホームページでも見ることができます。

必要に応じ整備してまいりたい

町長 その自治体特有の課題解決への条例

制定は、住みよいまちづくりを進める上で大変重要である

と考えます。

より行政サービスの向上につながる

条例等の整備について、様々な方面からご意見をいただきながら、必要に応じ整備してまいりたい。

改正消防法に基づくタンク改修義務化への対応について

平成二十三年九月

定例会での答弁からの対応・経過について

町長 改正消防法により、

スタン드의地下タンクの規制が強化され、義務付けられた油漏れ等を防ぐ対策の期限が二月末

となっております。

この課題に対し、平成二十三年九月定例会において、「独自の支援を行うてはどうか」との質問がなされ、「実情を把握し、国の補助制度の内容及び支援方法について調査、検討してまいりたい」との答弁がありました。

森林、林業の再生に向けた取り組み経過について

この期間の取り組みの経過はどのようになっていますか

町長 平成二十四年三月の定例会において、原発

た。その後、町としてどのような調査、検討がなされたのか伺います。

独自の支援制度は設けないかと

町長 国の支援制度の調査、活用状況等を把握するとともに、消防機関を通じて町内対象施設の改修状況等の把握に努めてきたところ

ですが、対象事業費の三分の二以内の補助金が交付される国の支援制度があることから、当町における独自支援制度は設けないこととしました。

森林整備への高上げ補助などを行った

町長 町としては、林業関係団体が行う間伐などの森林整備作業に対し、県からの補助に加え、町単独により事業費の十パーセント高上げ補助を行ったほか、林業関係団体との協議、森林所有者個人から現状や課題についての聞き取り調査などを行いました。

今後は、関係団体との連携を図り、森林の再生と林業の復興に努めてまいりたい。

木材の利用推進について

町長 森林整備の先にあるものとして、まだまだ木材の利用を推進する必要があると思います。

森林整備の振興を図るためにも、町としての

木材利用についての考え方を明示する必要があると思いますが、どのようにお考えか伺います。

関係する団体と協議を進めたい

町長 町で利用できるものは、もちろん利用できるように、さらに普通の販売や活用など、色々な意味で関係する団体と協議を進めてまいりたいと思います。



吉田康市議員

除染メニュー

二十四年度の除染の取り組み状況について

町長 復興元年として二十四年度、除染作業に対してどのような計画を立て、どのくらい対応できたのか伺います。

除染実施計画の策定などを行った

町長 早期の除染実施計画策定に向けて、町

候補地を八月に示したところ。

二十五年度の除染の取り組みについて

町長 二十五年度は、除染をどのようスピードアップして進めていく

のか。また、小野新町地区、飯豊地区は仮置場がまだ決まらない状況だが、今後、どのように対応していくのか。また、除染を実施する際、〇・ニ・三マイクローシールト未滿に下がった所は除染をしないのか。除染の対象外となつて

ホールボディカウンターの利用状況等について

検査実績や費用負担等について

町長 公立小野町地方総合病院に、ライオンスクラブ様からホールボディカウンターが寄贈され、

早期に除染作業が進むよう努力したい

町長 二十五年度は、早期に除染作業が進むよう努力したい。仮置場の設置については、おおむね関係者の同意が得られる見込みである夏井地区を優先し、造成並びに本格除染に着手してまいりたい。

小野新町地区、飯豊地区は、民有地における選定も含めて地域の方々と協議を重ね、早期に合意形成、仮置場が確保できるよう、努めてまいりたい。次に、基準値未滿のところの除染についてですが、制度上、対象外とされています。

中心市街地の活性化メニュー

今後の町の活性化について

町長 我が町の中心市街地の多くの商店がシャッターで閉ざされ、また、震災以降、家屋が取り壊されて空き地が目立っています。このような状況

を負担することなどが、事前に検査を受けた方の費用は返納するの

か、伺います。また、どのように町民へ周知しているのか伺います。

既に検査費用を支払った方へも助成する方向

町長 検査費用については、震災当時十八歳以下の子供と保護者、および妊婦は無料で行っております。

また、一般人については一人一回の検査費用を町が負担する計画であり、今議会に予算を提案しているところであります。既に検査費用を支払った方へも助成する

を見て、今後、どのように活性化を図り対応していくのか、伺います。

必要な施策を迅速に実施してまいりたい

町長 中心市街地の活性化については、これまで

の支援策を継続するとともに、福島県ブランドイメージ（回復支援事業なども活用し、必要な施策を迅速に実施してまいりたい。

リカちゃんキャスルとの連携について

問 我が町の活性化を図るため、全国的に知られているリカちゃんブランドを利用させていただき、リカちゃんの町・小野町として全国に発信してはどうかと思うが、町長の考えを伺います。

タイアップ事業等を行うてまいりたい

町長 これまでに、リカちゃんを「まちおこし

道路整備について

町道北ノ内・宮ノ前線の整備について

問 この路線は、南田原井地区の中心を結び、重要な生活路線ですが、現状は車両交差もできない状況であり、地元と

プリンセス」に任命し、施設前の町道を「リカちゃん通り」と命名するとともに、通りに架かる橋にリカちゃんのブロンズ像を設置、更に「リカちゃんキャスル」でリカちゃん通りのイルミネーション点灯式イベントを実施するなど、観光振興情報発信を行ってき

ました。
本年はリカちゃんキャスルがオープンして二十周年を迎える年なので、今まで以上に「リカちゃんキャスル」と連携を強化し、観光協会など関係機関と協力し、タイアップ事業等を行ってまいりたい。

しても早急な改修を望んでいるところです。
町は、今後改修等を考えているのか、伺います。

市町村復興支援交付金について

問 市町村復興支援交付金による事業の実施により、復旧・復興の町づくり

に、どのような効果があるのか、伺います。

施策はどのように考えているのか、伺います。

丁寧な協議を心がけて

町長 家屋移転等（協）力していただく皆様と、今後の河川改修に向けて真摯に、また丁寧に協議をしていく必要があるかと思えます。

振興計画の実施計画見直し方法について

問 毎年度ローリング方式で見直しが行われるこれらの事業の根拠となる指針の数値目標があるのか、どのような方法で見直しがなされているのか、伺います。

出来る限り指標や数値目標を設定し計画を策定している

町長 行政として達成すべき指標や数値目標が可能なものは出来る限り設定し、計画を策定しています。

また、社会、経済情勢の変化や行政状況等の動向に迅速に対応し、現実に調和したものと

順次、拡幅工事や橋梁の架け替えを行いたい

町長 当該路線は全長

約三千四百六十メートルの町道で、これまで約千八百三十メートル区間の整備を完了しており、残りの区間は、現在、整備を図るため準備をしているところです。



▲町道北ノ内・宮ノ前線

今後は、順次、拡幅工事や橋梁の架け替えを行いたいと考えております。

企業誘致について

鶴庭工業用地について

問 町長は、二月の全員協議会の中で、鶴庭工業用地を災害公営住宅にも使用したいと説明されました。しかし、現在、鶴庭工業用地のパンフレット等を使用して企業誘致活動を行っているわけですが、今後、鶴庭工業用地のPRは

中止するのか、また、進出してくる企業があった場合、新たな用地を確保するなどの考えがあるのか、伺います。

基本的には、当初の目的に沿った活用を考えている

町長 鶴庭工業用地について、基本的には、当初の目的に沿った活用に

ブランド・イメージ回復支援交付金について

産業別の生産額の推移について

問 リーマンショックや震災、放射能災害の前と後とで、小野町の産業別の生産額の推移はどのようになっているか、伺います。

第二次産業の減少が大きい

企画商工課長 現在公表されている直近の統計データは、震災前の平成二十二年のデータとなっており、震災前後の推移は検証できませんが、リーマンショックの前後

では、第一次産業で十六・二%の増、第二次産業で二十三%の減、第三次産業で二・四%の減、第三

▲ゲルマニウム半導体放射能検出器

特産品開発の経済効果等について

問 町の特産品開発事業

減となっており、特に第二次産業の生産額の減少が大きい状況です。

ブランド・イメージ回復支援交付金事業について

問 ブランド・イメージ回復支援交付金を利用した事業の効果について伺います。

地域イメージの回復と地域経済の復興を図る足がかり

町長 商工業振興、観光誘客や交流人口の増加、農畜産物の風評被害の払拭などを目指す様々な事業を行うこととしており、地域イメージの回復と地域経済の復興を図る足がかりになるものと考えています。

更新率は二十九・六%

町長 石綿セメント管の総延長二万六千八百二十四メートルのうち、更新済み延長は四千九百八十二メートルであり、更新率は二十九・六%です。

現在、三分の一の国庫補助金を活用し、二十万

向け、誘致活動を進めてまいりたい。
一方で、災害公営住宅等建設用地をご要望の場合は協力する旨を、県、及び避難自治体にお伝えしています。



竹川 里志 議員

目指すべき小野町の将来像とは

基本構想の目指す町とはどんな町か

問 第四次小野町振興計画における基本構想の目指す町とはどんな町か、具体的に伺います。

「温かいまち」、「誇れるまち」を目指す

町長 小野町の大きな財産である「笑顔と活気にあふれる人々」、「豊かな自然環境」が自ら光り輝き、人々がとも

また、災害公営住宅等用地として提供することが決定した場合は、現在活用されていない工業用地を中心とした企業誘致活動を進めてまいりたい。

に助け合い、やさしさあふれる「温かいまち」、「誇れるまち」となることを目指すものです。

河川改修事業に伴う家屋移転について

問 地震被害に遭いながら、右支夏井川河川改修事業に伴う家屋移転問題と絡み、復旧・復興ができないでいる町民や商店経営者が多数いますが、早期解決の

発し、今年度から販売を行っています。また、「升漬けを使用した新商品の開発を継続して進めています。

新商品の開発からブランド化までには長い年月と大きな労力を必要とするため、経済効果については今後に期待するものです。

石綿セメント管更新事業について

更新状況について

問 老朽化し漏水事故が頻発している石綿セメント管を早急に交換すべきだが、現在どのような状況か伺います。

更新終了時期について

問 石綿セメント管の更新が終了するのはいつごろか、伺います。

更新を推進している

町長 大幅に進捗を図れるよう、あらゆる財源確保に努めながら、引き続き石綿セメント管の更新を推進してまいりたい。

平成25年 定例会3月会議 3月21日

平成25年小野町議会定例会3月会議は、
3月21日に開催され、次の議案を議決しました。

◆平成24年度小野町一般会計補正予算(第7号)

歳入について社会資本整備総合交付金621万7千円、地域の元気臨時交付金580万円、臨時地方道整備事業債10万円を増額、歳出について、共済組合負担金634万8千円、公営住宅屋上防水工事費等1,550万円、財政調整基金積立金2,000万円、及び予備費16万5千円を増額、公立小野町地方総合病院企業団負担金1,670万5千円、及び河川改修事業付替道路事業負担金1,319万1千円を減額したものの。
〈全員賛成で可決〉

議会活動日誌

2月
February

- 6日 ■山形県中山町議会、行政視察のため来町
- 8日 ■企業対策特別委員会(企業訪問)
■月例全員協議会
■議会改革特別委員会
■議会広報編集委員会
- 13日 ■郡山地方広域消防組合議会2月定例会(郡山市)
- 14日 ■第27回B&G杯室内ゲートボール大会(町民体育館)
- 15日 ■百歳賀寿贈呈式(夏井)
■小町ふれあいフェスタ実行委員会(母子健康センター)
- 17日 ■第29回B&G杯ビーチバレーボール
行政區親善交歓会(町民体育館)
- 21日 ■小野町議会定例会2月会議(3月1日まで)
- 25日 ■福島県町村議会議長会 第2回定期総会(福島市)
- 28日 ■議会運営委員会
■塩庭地内処分場視察

3月
March

- 1日 ■小野高等学校卒業式
■第37回小野町スポーツ民踊協会総会(多目的研修集会施設)
■月例全員協議会
- 2日 ■小野町フォトコンテスト表彰式(ふるさと文化の館)
- 4日 ■災害協定調印式(議場)
■月例出納検査
- 5日 ■三春町仮置場等視察調査(三春町)
- 11日 ■葉たばこ播種状況視察(厚生産業常任委員会)
- 13日 ■町内中学校卒業式
- 18日 ■わかば幼稚園卒園式
- 19日 ■つじ児童園卒園式
■小野町交通対策協議会(多目的研修集会施設)
- 20日 ■福島空港開港20周年記念式典(玉川村)
- 21日 ■議会運営委員会
■全員協議会
■小野町議会定例会3月会議
- 22日 ■町内小学校卒業式
- 25日 ■月例出納検査
- 26日 ■国への要望活動(東京)
- 27日 ■町内保育園卒園式
- 30日 ■小野町連合婦人会定期総会(多目的研修集会施設)
■小野町グラウンドゴルフ協会総会(西田屋本店)

4月
April

- 3日 ■町内保育園入園式
- 8日 ■町内小・中学校入学式
- 9日 ■小野高等学校入学式
■小野わかば幼稚園・浮金つじ児童園入園式
- 10日 ■小野町議会(企業訪問)
■月例全員協議会
- 16日 ■総務文教常任委員会
■厚生産業常任委員会
- 17日 ■日赤奉仕団すみれ会総会(多目的研修集会施設)
■平成25年度小野町観光協会総会(勤労青少年ホーム)
- 19日 ■小野町異業種交流会講演会(勤労青少年ホーム)
- 20日 ■第28回小野町長杯ゲートボール大会(屋外ゲートボール場)
- 24日 ■小野町体育協会総会(うろこや分店)
- 25日 ■月例出納検査
- 26日 ■小野町民生委員協議会総会(母子健康センター)
- 27日 ■田村医師会総会(船引町)
- 28日 ■小野町消防団春季検閲式(多目的グラウンド)
- 29日 ■第27回川の手荒川まつり(東京都)

議会活動トピックス

No. 134

発行者 福島県小野町議会

編集 議会広報編集委員会



2月6日

山形県中山町議会が
小野中学校を視察に来町されました。



3月5日

三春町の仮置場造成地等を視察調査しました。



3月11日

葉たばこの播種状況を視察しました。



4月16日

ふくしま中央森林組合代表理事組合長の
渡邊一夫氏を講師にお招きして
議員研修会を行いました。

• あとがき •

本来、日本人は自然と共生して
いましたがいつのまにか便利さば
かりを追求しています。

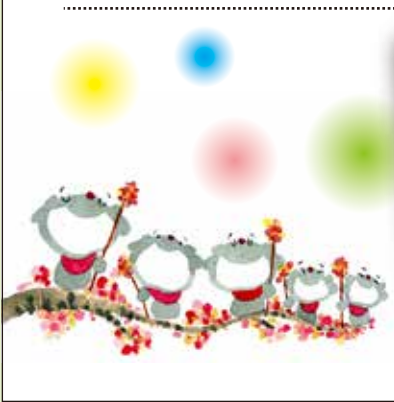
蚕神社の方で声がするので覗い
てみると4人の女性が「佐富喜地
蔵」の掃除と古くなった地蔵さん
の着物の着せ替えをして昔を思い
出しながら楽しい時間を過ごして
おられました。

お話しを聞くとこの小さなお
堂で勉強したり友人とよく遊ん
だと聞き小さい頃の自分も友人
と神社、仏閣や野山で遊んだ記憶
が蘇りました。

最近あまり外で遊ぶ子供さ
んが見えないのは残念ですが近
所の伝統文化を見直し後世に遺
すことも大事だと痛感しました。

今では忘れられてしまった地蔵
さんもあることでしょう。面白い
地蔵さんの一報をお願いします。

議会広報編集委員
竹川 里志



この印刷物は、FSC®の基準に従って
認証された適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙で印刷されています。

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92

☎0247-72-2111